

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (2)	機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク
---------	-----------------------

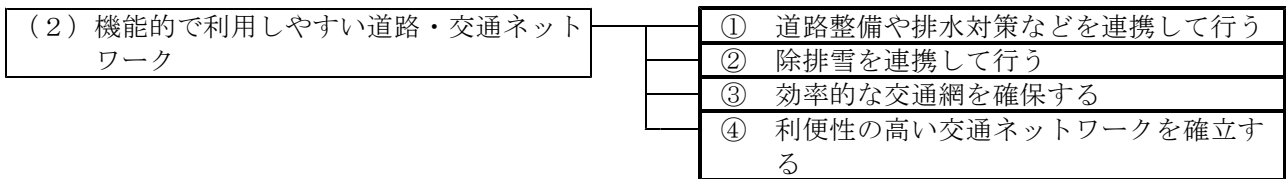
基本構想でめざす姿や状態

- 生活道路や歩道、排水路などの生活基盤が整っていて、安全で快適に暮らせること。
- 除排雪などに地域住民やボランティアなどの協力態勢が整っていて、季節を問わず安全に通行できること。
- 路線バスなどの交通手段が整っていて、快適に移動できること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
道路の整備延長 (改良率)	55.9% (H19年度)	56.5%	57.0%	
道路の整備延長 (舗装率)	68.0% (H19年度)	69.5%	71.0%	
除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合	42.9% (H19年度)	48.0%	53.0%	市民意識調査
巡回バスの1便平均利用者数	14.1人 (H18年度)	16.0人	18.0人	

施策の体系



実施事業の概要

① 道路整備や排水対策などを連携して行う

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算) 百万円
		H20	H21	H22		
市民	道路維持補修事業 道路利用者の安全と通行を確保するため、道路破損箇所の補修等の実施	維持補修	維持補修	維持補修	地域住民との協働による取組を拡大	103.0
市民	道路改良事業 道路の拡幅及び側溝等の整備	側溝改良 5路線等	4路線程度	4路線程度	地域住民との協働による取組を拡大	14.4
市民	排水対策事業 排水対策のための側溝又は管きよの整備	4箇所	3箇所程度	3箇所程度	地域住民との協働による取組を拡大	29.0
	道路舗装事業 未舗装道路の舗装新設	1箇所 (麻生)			必要箇所を見極めて実施	1.0
	地方道路整備臨時交付金事業(二ツ井地域道路) 二ツ井地域の道路の拡幅及び側溝等の整備等	4路線	4路線程度	4路線程度	継続して実施	122.4
	地方道路整備臨時交付金事業(中川原橋架替) 老朽化が進む中川原橋の架替及び島町中川原線の拡幅	仮橋等設置 配管移設等	旧橋解体 下水管移設	橋下部工	継続して実施	112.0
見直	中川原地区整備事業 中川原地区の生活環境を改善するための道路拡幅・新設等	実施 (見直し)	実施	実施	事業計画の見直しを検討	56.5
見直	向能代地区整備事業 向能代地区の生活環境を改善するための道路拡幅・新設等	実施 (見直し)	実施	実施	事業計画の見直しを検討	15.8

② 除排雪を連携して行う

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算) 百万円
		H20	H21	H22		
市民	除排雪対策事業 道路の除雪及び防雪柵の設置・撤去等	実施	実施	実施	地域住民との協働による取組を拡大	72.7

③ 効率的な交通網を確保する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算) 百万円
		H20	H21	H22		
	市街地巡回バス運行事業 市街地巡回バス「はまなす号」の運行	運行	運行	運行	継続して運行	4.6
見直	地方バス路線等維持費補助事業 地域住民の生活に欠かせない路線バスの赤字路線に対する補助	補助 (見直し)	補助	補助	20年度から交通対策の見直しに着手	62.3
見直	向能代駅管理事業 能代西高の通学生徒等の安全を確保するため、向能代駅の管理を委託	管理	管理	管理	高校再編に合わせて見直しを検討	0.9

④ 利便性の高い交通ネットワークを確立する

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
見直	道路関係整備促進期成同盟会等活動事業 日本海沿岸東北自動車道をはじめ、関係市町村が国・県等に道路整備を働きかけする活動	実施	実施	実施	ほぼ目的が達成された会は、あり方の見直しを検討	百万円 1.2
見直	秋田新幹線延伸等活動事業 秋田新幹線の延伸に関して国等へ働きかけする活動	実施	実施	実施	活動のあり方の見直しを検討	—

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政策(3)	効果的で調和のとれた土地利活用
-------	-----------------

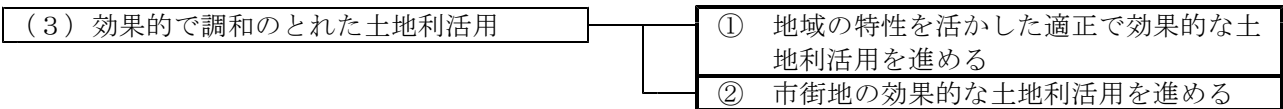
基本構想でめざす姿や状態

- それぞれの地域が持つ資源や特性、整備された生活基盤が活用され、この地域に合った良好な都市形成が進むこと。
- 定住人口や交流人口の確保により、中心市街地に活気があること。

基本計画でめざす目標指標

指標	現状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備考
中心市街地活性化重点区域の空き店舗率	20.5% (H18年度)	20.5%	維持	

施策の体系



実施事業の概要

① 地域の特性を活かした適正で効果的な土地利活用を進める

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
重点	国土利用計画策定事業 国・県が策定する国土利用計画を受けた市の計画を策定	策定準備 (新規)	策定		21年度中に策定	百万円 —
重点	都市計画マスタープラン策定事業 都市計画の将来像や整備方針を定める市の都市計画マスタープランの策定	策定準備 (新規)	策定		21年度中に策定	6.3
重点	農業振興地域整備計画策定事業 優良農用地の確保を図るために市の農業振興地域整備計画を策定	策定準備 (新規)	策定		21年度中に策定	0.5
	地籍調査事業 二ツ井地域の地籍測量等	計画面積 0.19km ²	計画面積 0.19km ²	計画面積 0.16km ²	継続して実施	7.1

② 市街地の効果的な土地利活用を進める

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
重点	中心市街地活性化推進事業 中心市街地活性化ビジョンに基づき、中心市街地活性化計画を策定し、事業を推進	策定 (新規)	(事業推進)	(事業推進)	20年度中に策定	百万円 6.3
	旧第一保育所跡地売却 能代警察署建替用地として旧第一保育所跡地を県に売却	売却 (新規)			20年度に売却	(51.0) ※収入

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政策(4)	快適で暮らしやすい住環境
-------	--------------

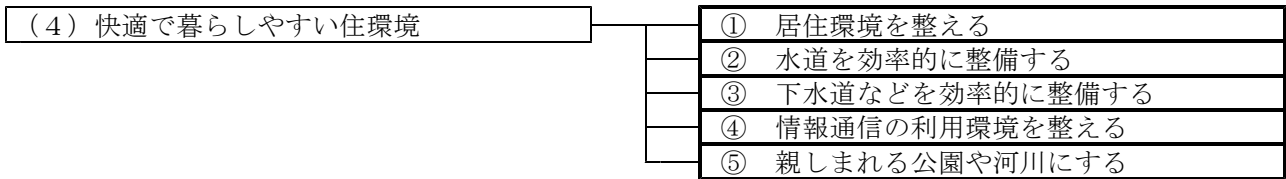
基本構想でめざす姿や状態

- 飲用水の確保や生活排水の処理などにより、衛生的で快適な生活環境になること。
- 情報通信技術を利用できる環境になること。
- 安らぎのある憩いの場として、公園や広場などを安心して利用できること。

基本計画でめざす目標指標

指標	現状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備考
水道普及率	85.6% (H17年度末)	86.0%	87.0%	
汚水処理人口普及率	57.7% (H18年度末)	67.6%	80.0%	
飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合	65.1% (H19年度)	69.0%	75.0%	市民意識調査
ブロードバンド世帯カバー率	98.9% (H19年度)	100.0%	100.0%	

施策の体系



実施事業の概要

① 居住環境を整える

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
重点	市営住吉町住宅建替事業 老朽化が進む市営住吉町住宅の建替	地質調査 敷地測量	業者選定又 は実施設計	入居者 移転等	建替に向けて諸準備	百万円 14.8
重点	住生活基本計画策定事業 住宅政策の基本方針として住生活基本計画を策定		策定 (新規)		21年度中に策定	—
重点	公営住宅ストック総合活用計画策定事業 既設公営住宅の有効利用等を図るため公営住宅ストック総合活用計画を策定		策定 (新規)		21年度中に策定	—
	市営住宅維持管理事業 市営住宅の維持管理	管理	管理	管理	継続して管理	49.5

② 水道を効率的に整備する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
重点	水道等整備計画策定事業 市全体の水道等整備計画の策定	策定 (新規)→			上水道・簡易水道等の整備方針等を検討	百万円 5.3
	管路近代化事業 上水道の老朽した铸铁管の更新	実施	実施	実施	継続して実施	234.7 (企業会計)
	上水道未普及地域解消事業 上水道整備区域の拡張	実施	実施	実施	整備要望を踏まえて拡張区域を検討	7.2 (企業会計)
	配水管等整備事業 上水道の配水管布設・移設、消火栓更新等	実施	実施	実施	継続して実施	97.4 (企業会計)

③ 下水道などを効率的に整備する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
	公共下水道整備事業 公共下水道の整備	ポンプ場増改築 幹線・枝線工事等	ポンプ場増改築 幹線・枝線工事等	ポンプ場増改築 幹線・枝線工事等	継続して実施	百万円 926.0 (特別会計)
	終末処理場管理事業 終末処理場の管理	管理	管理	管理	継続して管理	189.6 (特別会計)
重点	生活排水処理構想策定事業 区域ごとの生活排水処理の整備構想を策定	策定 (新規)→			20年度中に策定	1.1 (特別会計)
	浄化槽設置整備事業（個人設置型） 能代地域の浄化槽整備として、個人設置に対して市が助成	130基	130基程度	130基程度	整備方針等は構想策定の中で負担を含めて検討	47.0
	浄化槽設置整備事業（市町村設置型） 二ツ井地域の浄化槽整備として、市が設置	70基	70基程度	70基程度	整備方針等は構想策定の中で負担を含めて検討	64.1 (特別会計)
	農業集落排水事業 農業集落排水施設の管理	管理	管理	管理	整備方針等は構想策定の中で検討	5.8 (特別会計)

④ 情報通信の利用環境を整える

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
	高速インターネットアクセス網整備事業 通信事業者の高速通信サービス機器設置等に対する補助	1箇所 (響)→			20年度整備に向け調整	百万円 —
	辺地共聴施設整備事業 地上デジタルテレビ放送の難視聴地区解消のために行う自主共聴施設の改修に対する補助		実施 (新規)	実施 (終了)	21～22年度に補助制度に基づき実施	—

⑤ 親しまれる公園や河川にする

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
市民	公園維持管理事業 公園の維持管理、公園愛護会の活動支援等	実施	実施	実施	地域住民との協働 による取組を拡大	42.4
	風の松原管理事業 風の松原の案内板・遊具等の維持管理	管理	管理	管理	継続して管理	0.6
	能代河畔公園整備事業 運動施設・教養施設・休養施設・避難場所等 の総合的な施設を備えた公園として整備	実施 (見直し)	実施	実施	事業計画の見直し を検討	88.4
	檜山川運河改修事業 準用河川檜山川運河の拡幅整備	2・3号橋 設計	3号橋 下部工	3号橋 上部工	継続して実施	7.0

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政策(5)	安心でき健康を保てる医療体制
-------	----------------

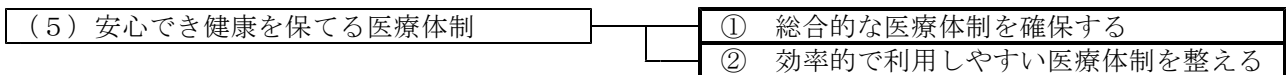
基本構想でめざす姿や状態

- 身近にかかりつけ医がいて、気軽に相談でき、必要なときに必要なサービスや高度な医療を受けられること。
- 身近にできる救命技能や献血などが、地域医療を支えること。

基本計画でめざす目標指標

指標	現状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備考
身近なかかりつけ医を持っている市民の割合	66.2% (H19年度)	75.0%	85.0%	市民意識調査
身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合	51.0% (H19年度)	65.0%	75.0%	市民意識調査

施策の体系



実施事業の概要

① 総合的な医療体制を確保する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
	救急医療対策事業(広域負担金) 能代山本広域市町村圏組合で実施している休日・夜間医療の体制確保のための補助に負担	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 16.6
重点	放射線治療装置等導入費補助事業 山本組合総合病院で導入する放射線治療装置及び治療計画用CT装置への補助	補助 (新規)	補助	補助	20年度から新たに実施	—
市民	献血推進事業 献血協力者及び事業所への協力要請等	実施	実施	実施	継続して実施	0.4

② 効率的で利用しやすい医療体制を整える

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H20事業費 (当初予算)
		H20	H21	H22		
	福祉医療事業 乳幼児医療、高齢身障医療、重度身障医療、ひとり親家庭児童医療の自己負担への補助	実施	実施	実施	継続して実施	百万円 411.6
見直	市立診療所運営事業 常盤診療所、檜山診療所、鶴形診療所の運営	運営	運営	運営	診療所のあり方を検討	3.5
見直	国保診療所運営事業 富根診療所、種梅出張所の運営	運営	運営	運営	診療所のあり方を検討	67.4 (特別会計)